

中部技術事務所の災害対策用車両を出展

【第4回中部ライフガードTEC2016 防災・減災・危機管理展】

中部地震津波対策
技術センター

中部技術事務所

平成28年6月2日・3日、ポートメッセなごや2号館(名古屋市港区)において中部技術事務所の無人化施工バックホウ・照明車・排水ポンプ車を展示し、多くの来場者の方々にご覧いただきました。

排水ポンプ車(30m³/min級)

台風などによる浸水被害を抑えるため速やかに排水作業を行います。
平成27年9月に発生した関東・東北豪雨にも派遣されました。

照明車(20m級)

搭載している照明を点灯することにより、
夜間の災害活動を支援します。
平成26年の御嶽山噴火にも派遣されました。

無人化施工バックホウ

(1.0m³級・分解組立型・遠隔操縦式)

人が立ち入ることができない場所にて
リモコン操作により離れた位置から
土砂撤去作業を行うことができます。
また、分割し、空輸することにより陸路が
寸断された場所へも派遣可能です。
平成28年熊本地震において今回展示の
重機が南阿蘇村で活動しました。

さまざまな方面の方々が
関心を寄せられました。

